

「ことばのカトリアル第 13 号」

「募金活動」

平成 30 年 9 月 21 日 (金)、生徒会本部役員が、アジアで逆境にもめげず、一生懸命生きる子どもたちを救うために、街頭募金を実施しました。いただいた募金は、一般社団法人アジア支援機構様にお渡しさせ

仲里友成 (1 年・大宮中学出身)

今回アジアチャイルドサポート募金活動を終え、募金の大切さと感じることができました。募金活動に参加するのは初めてで、募金に協力していただける方は少ないと思っていました。しかし、地域の皆様の温かい心や、逆境にもめげず、一生懸命生きる子どもたちを救ってあげようという気持ちで、想像をはるかに超える多くの方々に募金に協力していただきました。

地域の皆様の温かい心を、肌で感じることでできた有意義な活動となりました。



望月ほのか (1 年・峰山中学出身)

私は、アジアチャイルドサポート募金を通して多くのことを学ぶことができました。アジアの中で逆境にもめげず、一生懸命生きる子どもたちが多いということを知り、少しでも多く募金が集まればと思い、募金活動に参加しました。すると、買い物に来られた約 8 割以上の方が募金に協力していただき感動しました。募金に協力していただいた方の中には、海洋高校に関心を持っていただいている方も多くおられ、改めてどんな場所でも海洋高校生という自覚を持って行動していかなければならないということ強く思いました。

募金活動を通して、地域の方の温かさを感じるとともに、自分自身アジアの逆境にもめげず、一生懸命生きる子どもたちに何ができるのかということを考えるよい機会になりました。

川原朋也 (1 年・第九中学出身)

私は今回、アジアの逆境にもめげず、一生懸命生きる子どもたちへの募金活動に参加させていただきました。募金活動を行う中でこれまでに考えることのなかった、アジアの逆境にもめげず、一生懸命生きる子どもたちのことについて考えることができました。募金で集まったお金で、一人でも多くの子どもたちの助けになるとよいと思いました。

小寺勝生 (2 年・美山中学出身)

私は、生徒会役員として初めての活動として「アジアチャイルドサポート」の募金活動に参加しました。初めは、1 時間だけの募金活動ではお金は集まらないだろうと思っていました。しかし約 8 割以上の方が募金活動に協力していただき、通行人の方のほとんどが、私たちの活動に興味を持っていただけたことを嬉しく思いました。

私は、今回の募金活動に協力してくださった多くの方々の温かさを感じました。さらに、今回の活動を通して、海洋高校生としての自覚を持つとともに、生活態度や学習方法等を見直す機会となりました。

樋口日登志 (2 年・加悦中学出身)

私は、今回株式会社フクヤ男山店様にて募金活動をさせていただきました。募金活動を通して多くの方が募金活動に協力してくださり、地域の方々の心の温かさや優しさに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。本当にありがとうございました。

また、募金活動をしていく中で、予想以上に海洋高校を応援していただいている方々が多いことに驚きました。海洋高校を応援していただいている方々のためにも、自分自身の行動に責任感を持ち、今後の学校生活を送っていかねばならないと感じるさせられる、貴重な経験をさせていただきました。

